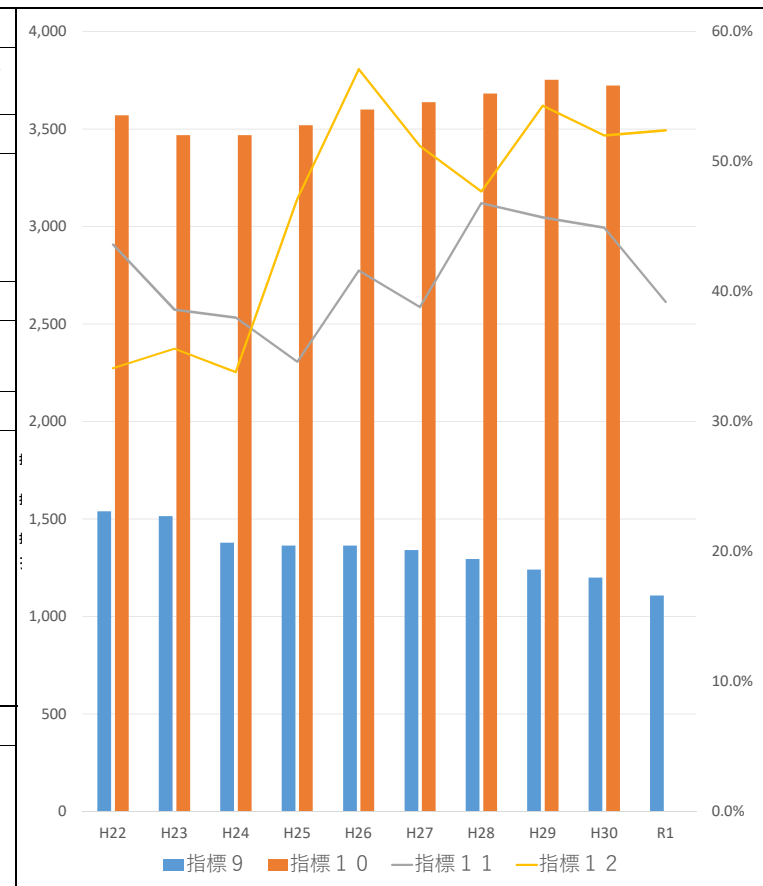


取組検証(案)

① 次 代 の 担 い 手 と な る 若 い 力 を 育 て ら れ 、 と も に 成 長 で き る	<p style="text-align: center;">楽しいまち(人づくり)</p> <p>取組5:若者の個性と夢を育むとともに、大人も学べる機会を充実させる 人の個性を大切にしながら、子ども・若者が夢をみる力を育み、実現に向けた活動を応援するとともに、モラルや市民としての社会的責任を果たすことが問われている中、道徳観、倫理観及び教養について、大人も学ぶ機会を充実させる。</p> <p>東播磨地域ビジョン委員会</p> <p>【ハートランド弁論大会実行委員会】 30年後の社会を担う子供たちの地域社会に対する意識を醸成するため、管内の中学校の生徒を対象とした弁論大会を開催した。</p> <p>【仁譲塾】 論語を通じて若者の人格形成を図り、「論語素読会」や「子ども論語素読教室」を開催した。</p> <p>行政</p> <p>未来をひらく少年会議 東播磨「人・まち」わくわく学び塾 「ひょうご子ども・若者応援団」事業の推進 大人が変われば子どもも変わるキャンペーンの展開</p> <p>検証(指標)</p> <p>児童1,000人あたりのいじめ発生件数(小学校)(指標1) 兵庫県教育委員会事務局播磨東教育事務所調べ 【H22】1.2件 → 【H28】7.3件 → 【H29】21.85件 → 【H30】44.91件</p> <p>不登校児童生徒の割合(小学校)(指標2) 兵庫県教育委員会事務局播磨東教育事務所調べ 【H22】0.27% → 【H28】0.41% → 【H29】0.41% → 【H30】0.43%</p> <p>住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育てていると思う人の割合(指標3) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】62.3% → 【H29】67.7% → 【H30】67.3% → 【R1】67.1% (6位)</p> <p>若者が希望を持てる社会だと思う人の割合(指標4) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】5.0% → 【H29】11.7% → 【H30】15.8% → 【R1】9.3% (7位)</p> <p>評価</p> <p>地域ビジョン委員会は委員の得意分野を活かした方法で若者の育成に取り組んだ。 また、行政も地域住民と協力した若者育成事業をおこなった。 いじめの発生件数・不登校児童の割合がともに増加している。一方、住民の子どもに対する意識はわずかによくなっており、若者が希望を持てる社会だと思う人の割合も増加傾向にある。若者の個性と夢を育む取組が必要。</p>	
② 人 の 多 様 な 考 え 方 、 生 き 方 を 理 解 し 、 応 援 す る 環 境 を つ く る	<p>取組6:いろいろな考え方、生き方を理解し、応援する環境をつくる 人が望む多様な生活をできる限りかなえられる地域社会となるよう、いろいろな考え方、生き方を理解する機会を設けるとともに、これらを応援する施設、システム等を整備する。</p> <p>東播磨地域ビジョン委員会</p> <p>【夢のたね】 子どもが自身の将来について考えるきっかけづくりとして、管内の小中学校で職業体験学習を実施した。</p> <p>【Dawg with】 命の大切さや思いやる気持ちを学ぶために、小学校や福祉施設でふれあい授業を開催した。</p> <p>行政</p> <p>男女共同参画推進員を通じた啓発 チャレンジショップ「きずな」の販売力強化による障害者の自立支援 兵庫ゆずりあい駐車場の普及推進</p> <p>検証(指標)</p> <p>在留外国人数(指標5) 県内在留外国人数一覧(兵庫県国際交流課) 【H22】7,284人 → 【H28】7,492人 → 【H29】7,764人 → 【H30】8,183人</p> <p>障害者手帳所持率(指標6) 東播磨県民局加古川健康福祉事務所調べ 【H22】3.8% → 【H28】3.7% → 【H29】3.7% → 【H30】3.6%</p> <p>不当な差別がない社会だと思う人の割合(指標7) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】17.0% → 【H29】27.8% → 【H30】26.5% → 【R1】24.9% (10位)</p> <p>性別や年齢を問わず、働きやすい環境が整っていると思う人の割合(指標8) 兵庫のゆたかさ指標 性別や年齢を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思う人の割合(H24まで) 【H22】7.7% → 【H29】10.7% → 【H30】11.2% → 【R1】12.2% (2位)</p> <p>評価</p> <p>地域ビジョン委員会では小学校の授業に参加し、子ども達に自身の将来やお互いを思いやる心を学ぶ機会を設けた。 また、行政は多様性が尊重されるための取組をおこなった。 在留外国人は平成25年以降増加し続けている。また、住民意識はよくなっている傾向にあるが、いずれも低い割合であるため、多様な生き方、働き方を尊重し支援する社会づくりへの取組がさらに必要。</p>	

③ 自らの生き生きの意義を考え、生きがいを持つる	取組7：生涯充実をめざし、培ってきた知識、技術及び経験を地域のために還元する
	人が生きがいを感じて、充実した生活を過ごせるよう、自らが培ってきた知識、技術及び経験を地域社会へ還元できる環境づくりを進める
	東播磨地域ビジョン委員会
	【チャレンジ・ナビ】 地域の高齢者が昔遊びなどの文化を子供たちに継承するためのイベントを開催し、文化の継承と地域リーダーの育成を図った。
	【東播磨に駒音を響かそう】 青少年の健全育成・シニア世代の生きがい創出、世代間の交流を図り、将棋を用いた交流会や将棋大会を開催した。
	行政
	シニア世代地域デビュー交流フェスタ事業 地域づくり伝統文化交流事業
	検証（指標）
	県立高齢者大学の受講者数（指標9） 兵庫県企画県民部県民生活課調べ 【H22】1,539人 → 【H29】1,242人 → 【H30】1,199人 → 【R1】1,108人 シルバー人材センター会員数（指標10）（公社）兵庫県シルバー人材センター協会調べ 【H22】3,571人 → 【H28】3,682人 → 【H29】3,753人 → 【H30】3,723人 目的をもって学んでいることがある人の割合（指標11） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】43.6% → 【H29】45.7% → 【H30】44.9% → 【R1】39.2%（9位） 住んでいる地域で、異なる世代の人と付き合いがある人の割合（指標12） 兵庫のゆたかさ指標 地域の異なる世代の人とつきあいがある人の割合（H24まで） 【H22】34.1% → 【H29】54.3% → 【H30】52.0% → 【R1】52.4%（7位）
	評価 地域ビジョン委員会では、高齢者が地域の若者と交流し、知識や経験の継承を図った。 行政は高齢者が地域活動に積極的に参加できるよう支援をおこなった。 高齢者大学の受講者数は年々減少しているが、シルバー人材センターの会員数は増加傾向にある。 また、世代間交流は増加しているが、学びについての意識は低下傾向であることから、意欲を持って生涯学習に取り組むための働きかけが課題。



④ 多様な知恵とアイデアが交わり、お互いを高め、楽しさを創造できる	取組8：交流チャンネルと意欲ある人材の開拓により、新しい地域づくり活動を呼び起こす
	参画と協働の拠点施設が持つコミュニティ団体とのネットワークの活用や、中間支援組織の育成を促し、地域づくり活動の新たな展開をはかるよう活用する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【東はりまコミュニティがく団】 地域活動に興味がある人のきっかけ作り・学びの場として「NPOカフェ」を開催した。
	【ハートランドぐり石ネット】 地域活動の楽しさを広く知ってもらうために、ふるさと探訪やパソコン楽習塾など様々な活動を展開した。
	行政
	東播磨生活創造センター「かこむ」の運営 地域づくり活動支援事業 高砂みなとまちづくり こころ豊かな人づくり500人委員育成事業
	検証（指標）
	東播磨生活創造センターのかこむ倶楽部登録数（指標13） シミズシーズ・BANBANネットワークス協同事業体(指定管理者) 【H23.3末】305グループ → 【H30.12末】327グループ → 【H31.10末】378グループ 住んでいる地域のことに興味がある人の割合（指標14） 兵庫のゆたかさ指標 （H24まで）地域の風土や文化について知っている人の割合 【H22】31.1% → 【H29】69.2% → 【H30】71.6% → 【R1】67.1% 住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合(指標15) 兵庫のゆたかさ指標 （H24まで）地域の行事によく参加する人の割合 【H22】37.6% → 【H29】39.7% → 【H30】38.3% → 【R1】36.4%（7位） ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい人の割合(指標16) 兵庫のゆたかさ指標 地域活動やボランティア活動をしている人の割合（H24まで） 【H22】23.4% → 【H29】34.5% → 【H30】35.0% → 【R1】33.6%（7位）
	評価 地域ビジョン委員会では、地域づくり活動の立ち上げの支援や、参加のきっかけとなる取組をおこなった。 行政では地域づくり活動の拠点の整備や資金面での支援をおこなった。 地域に関心のある人の割合が増加し、かこむの登録団体数も増加している。 また、ボランティアなどへの参加意欲も増加傾向にあり、引き続き地域活動への参加を促進する場づくりなどが必要。

